

福田剣道スポーツ少年団

代表者 内山 覚

加盟人数 20名

昭和44年福田剣友会（伊東金平会長）少年部として発足、当時廃校となった旧福田小学校において活動を始める。昭和47年スポーツ少年団に加盟、団員は小学生のみで稽古に励む。

【組織の概要】

団長は内山覚、指導員は福田剣友会の会員10数名が務める。団員は小学生、中学生、高校生、一般人と多岐にわたる。又、指導員の半数以上は、認定指導員である。父母会が発足当時より積極的に指導員と子供達の為に、協力を惜みず、活動している。

【活動状況】

稽古日は週3日、月、水、金曜日

時間は19：10～20：30

場所は福田中学校体育館

なお、昇段審査等の時は18：30をオーバーすることがある。

【年間行事】

4月の入団に始まり、6月には指導員、父母会との懇談会、7月には合宿、10月にはレクリエーション等、年間6回程の行事を行っている。又、年間10回程程度の対外試合が組まれている。

【活動理念】

剣道においての基本、礼儀を重視した指導を行っている。そして技柄の上達を知る為に毎月1回団員同志で例大会を行っている。持ち回りの稽の争奪は迫力がある試合をすることで相手を思いやる心を養い人間形成をめざす。

【現在の環境】

巷間言われています。少子化、スポーツ離れは、我々の団にも影響があります。年々入団する子供は減っており、団の存続にすら危機感を持っています。剣道という精神性を求める独特の武道であるが為に、理解され難い点はありますが、平成24年の中学校新学習要領で中学校体育教科において武道領域が必修となります。その時のためにもいまが頑張りどころかと思えます。



【平成21年度7月合宿にて】